

プレーパーク

レポート

9/22
(日)



集合時間には曇りだった空が雨を降らせ始めました。それでも集まってくれるリピーターの皆さんはカッパを羽織って頑張とやって来てくれました。「小鹿野町のプレーパークは雨でも楽しめる！」というモットーが浸透してきたようです。推進委員で力を合わせて張ったタープが心地よく、焚き火の炎を守ってくれました。

秩父高校の授業「秩高クエスト」とコラボ企画となった今回、雨宿りのあすまやでは高校生達が活躍！「作ってみよう」「一緒に遊ぼう」と優しく声がけしながらこどもたちと遊んでくれました。



シャボン玉（洗濯糊＋食器用洗剤＋水）はいつもの比率なのに雨に溶けない！大人も子どもも不思議な美しさに夢中になっていました。子どもたちは山のようになったシャボン玉を「あわやま」と名付けて大喜び！

雨の止んだタイミングを見計らって、さつまいもの試し掘りをしました。サイズこそ控えめな大きさですが、とっても甘くて美味しく育っていました。地域の山崎さんにいただいた栗も、濡れた新聞紙＋アルミホイルで包んで焼いたところちょうど良い焼き加減でホクホク美味しかったです。そしてかねてより計画していたスモア（チョコビスケット＋焼きマシュマロ）が大人気でした。昼食休憩後には高校生vs小学生の綱ひきが始まり「オーエスオーエス！」元気な声が響きました。

ハイライト！

子どもたちの言動をよく観察していた黒沢さんから「高校生が素晴らしかった！お芋のツルを引っ張る子どもが尻もちつかないように配慮してくれていた」と感想をいただきました。すると「そう言うあなたも、子どもたちのボール流し用の雨樋の角度をずっと研究していて。素晴らしかった！」と稲葉さん。褒めて伸ばすのが小鹿野流。互いの良さを見つけ合えたことが、何よりも嬉しいプレーパークの仲間たちでした。

